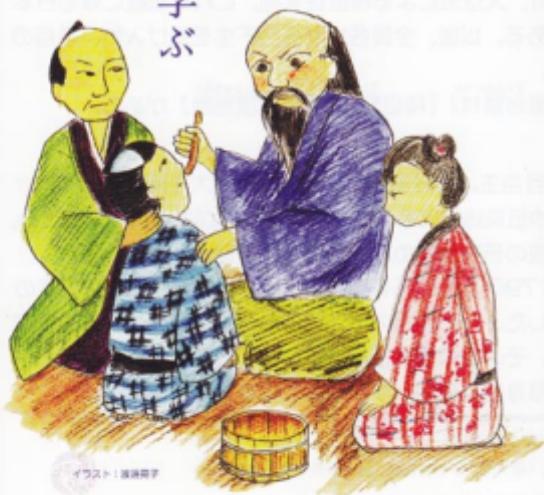


シンポジウム

秋月藩から始まった 予防接種は

緒方春朔と
天野甚左衛門に学ぶ



イラスト：渡辺英子

日時 平成25年 11月16日(土)
場所 ピーポート甘木 中ホール

会場 13:00
開演 13:30～
入場無料

切り取り線

シンポジウム

予防接種は秋月藩から始まった

緒方春朔と天野甚左衛門に学ぶ

日時 平成25年 11月 16日(土)
開場 13:00 開演 13:30～
場所 ピーポート甘木 中ホール

入場整理券



君がたしゅんさく あまの じんざえもん
緒方春朔と天野甚左衛門に学ぶ

緒方春朔 (1748 ~ 1810)



久留米藩士小田村甚吾（初名：瓦林清右衛門）の二男。
久留米藩の医者緒方玄貞の養子となり、長崎で医学を学び、天明3年(1783)2月、上秋月に転居。医学の他、天文学・軍学等にも精通し、種痘の研究を進める。
寛政元年(1789)5月、秋月藩主黒田長舒に召抱えられる。翌2年(1790)2月、人痘法による種痘を実施。これが記録に残る日本初の成功例である。以後、全国各地から門下生を受け入れ、種痘の普及に努めた。
著書に『種痘必順辨』『種痘緊轄』『種痘證治錄』がある。

天野甚左衛門 (?~1827)



天野家8代目当主。天野家は代々、上秋月組大庄屋を勤める。
当時、飢饉や伝染病等で多くの子供たちの命が失われていたため、
甚左衛門は種痘の研究を進める緒方春朔を援助。
寛政2年(1790)、しぶる春朔を説きふせ、我が子二人を種痘の
実験台に提供した。この種痘の成功により、秋月藩医の子弟も次々
と種痘を行い、その後の種痘普及につながった。
彼のまさに献身的支援が、多くの命を救ったのである。

基調講演 『種痘から予防ワクチンの道』

講師：酒井シヅ 氏（順天堂大学名誉教授、日本医史学会前理事長）

シンポジスト 大堀恭児 氏（上秋月コミュニティ協議会）

坂井圭子 氏（朝倉医師会あさくら会会長）

富田和英 氏（朝倉医師会会員、春朔会会員）

隈部敏明 氏（日本医史学会会員、朝市市教育委員会）

コーディネーター 松木祥憲 氏（天野甚左衛門顕彰会事務局長）

主催 天野甚左衛門顕彰会、甘木頼倉法人会秋月支部、秋月福士町友の会

後援 朝倉医師会、朝市教育委員会、上秋月コミュニティ協議会、安川コミュニティ協議会、秋月コミュニティ連携協議会、春朔会、甘木ロータリー・クラブ、朝倉ライオンズクラブ、国際ソロボチャミスト甘木、朝倉青年会議所、西日本新聞社

-----切り取り線-----

基調講演 『種痘から予防ワクチンの道』

講師：酒井シヅ 氏（順天堂大学名誉教授、日本医史学会前理事長）

シンポジスト 大堀恭児 氏（上秋月コミュニティ協議会）

坂井圭子 氏（朝倉医師会あさくら会会長）

富田和英 氏（朝倉医師会会員、春朔会会員）

隈部敏明 氏（日本医史学会会員、朝市市教育委員会）

コーディネーター 松木祥憲 氏（天野甚左衛門顕彰会事務局長）

お問い合わせ：天野甚左衛門顕彰会 朝市秋月676 TEL: 090-4587-8473